

東京 IPO 特別コラム

2019年8月5日 Vol.150

快拳を成し遂げた選手のスポンサー企業

暑中お見舞い申し上げます。先月の本コラムは筆者の都合でお休みしておりましたが本日は深夜のテレビ中継に感動しながら久々に本コラムをお届けすることとします。皆様も御承知だと思いますが、女子ゴルフで42年ぶりの快拳が成し遂げられました。岡山県出身の笑顔が印象的な渋野日向子選手（20歳）が全英オープンで米国や韓国など並みいる強豪を破って見事に優勝。途中までのデッドヒートで一時はトップと2打差の3位になった同選手が最終18番ホールでのバーディで優勝を決めたシーンは感動的でした。本当におめでとうございます。皆さんとともに心よりお祝いしたいと思います。

さて、同選手のウェアの肩の近くにどこかで見たことのある企業名が見えたのですが、皆さんはご覧になりましたか。キャンディル（1446）という企業です。同社は住宅や商業施設の補修サービス会社として昨年7月に東証マザーズに上場。2014年に設立されて以来、比較的短期間に事業モデルを強固なものとして全国展開を実現。上場の2期前の2016年9月期に売上高104億91百万円、経常利益1億29百万円だったものが、2017年9月期は売上高119億59百万円、経常利益2億85百万円、前期は売上高122億39百万円、経常利益3億45百万円へと向上。今期も売上高135億円、経常利益4億40百万円を見込むなど着実に業績は向上しています。このように業績が伸び盛りの同社は、ビジネス自体はゴルフとは無縁の筈ですが、今回のヒロインとなった渋野選手と6月24日にスポンサー契約を行っていたのです。

この快拳の報道を受けスポンサー企業である同社の株価は一夜明けた本日、急騰を演じました。ただ、さすがに市場環境が悪化する中でもあり、引けにかけては利益確定売りに押されていましたが、今後も同選手の活躍とともに話題を呼ぶものと期待されます。住宅補修サービスは地味な印象はあるものの社会インフラの老朽化が進む日本社会にとって必要不可欠なサービスであり今後、知名度の高まりとともに評価も高まると見られます。また、同社は女性が活躍する企業との印象がある。役員のみならずIR担当者も女性で業種のイメージからは想像できない印象を筆者は持っている。公開価格1180円に対して公開後の高値は1850円。その後は昨年10月に795円という安値をつけています。1400円を前にした時価の予想PERは32倍台。今後の成長期待からややプレミアムはついてはいるが、国内外の経済情勢に左右されないで成長が期待できることもあり、引き続きロングランで注目したい銘柄と言えます。若手のホープ、笑顔が印象的な渋野選手のこれからの活躍とともに同社の業績の伸びに大いに期待したいところです。

（東京IPOコラムニスト 松尾範久）